

1 学年だより

令和3年11月12日(金)

夢の宅配便

1 年学年主任

水野 喜代治

一線を越えない

人が生きていく中で、超えてはならない一線がある。超えてはならない一線とは、それをしたら、苦しむ人がいるとか、傷つく人がいるとか、社会の秩序が乱れるとか、その場の雰囲気壊すなど、「それは、してはまずいよ。それは、やめてほしいよ。」ということだ。それをしてしまうと一線を越えた言動ということになります。

例えば、お店にある商品を購入したいが、お金が足りない。まわりを見たら店員がいない。取ってしまいたい。という良くない考えが一瞬頭によぎることがあっても、それは犯罪だからしてはいけないと自分自身をコントロールして店を出るのが当たり前です。しかし、自分の欲求をコントロールできずに、その商品をもって店を出たら、その行為は一線を越えた行為となります。この例は、極端な話になりましたが、日常生活でも、一線を意識しなければならない場面はたくさんあると思います。

自分の言葉や行動で周りの人がいやな思いをしていることはないか考えることが大切なことだと思います。

テスト範囲表が配付されました。

第三回テストのテスト範囲表が配付されました。土日の前に配付して、少しでも勉強ができるように本日配付しました。三回テストは、5教科ですので取り組みやすいと思います。まずは、英語の単語、国語の漢字、歴史の重要語など憶えなければならぬ教科から取り組むようにしていきましょう。また、質問がある生徒は積極的に教科の先生に質問して理解を深めていきましょう。テスト科目は5教科ですが、それぞれの教科のテスト範囲が広いことも考えられますので計画的に進めてください。